

## 第 7 回 沖 縄 県 教 育 委 員 会 会 議 ( 定 例 会 )

1 日時 平成25年 4 月 17 日 15時03分～15時57分

2 場所 教育庁第 1 会議室

3 出席者

教 育 庁	統括監等	教育管理統括監、教育指導統括監、参事
	課長及び 班長等	総務課長、教育支援課長、施設課長、学校人事課長、 県立学校教育課長、義務教育課長、保健体育課長、 生涯学習振興課長、文化財課長
	職務のため 出席した者	(事務局) 総務課総務班班長、同班主任 (2名) 学校人事課県立学校人事管理監、同課小中学校人事管理監 県立学校教育課高校教育改革班主任指導主事、同課特別支援教育 班指導主事 文化財課文化財班副参事兼班長
4 傍聴した者		
記者 1 人 / その他 1 人		

平成25年第7回県教育委員会会議（定例会）

（開会15:03）

委員長	ただ今から平成25年第7回県教育委員会会議・定例会を開催します。 会議を進めていく前に、4月1日付けで諸見里教育長が就任されていますので、自己紹介と抱負を伺いたいと思います。 では、諸見里教育長よろしくお願ひいたします。
教育長	4月1日付けを持ちまして、教育長を拝命致しました諸見里でございます。本日までに全課の重点項目、重点事業、及び課題等の説明を受けてまいりました。一週間を超えて、かなりの時間を掛けて聞いてまいりましたが、やはり沖縄県の教育は課題が山積しております。大きな課題等も抱えておりまして、本当に教育長としての重責を感じております。 教育委員の皆様のお力を借り、時によっては指導を伺いながら頑張っていきたいと思ひます。 誠心誠意、頑張る所存でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。
委員長	ありがとうございました。次に事務局職員も人事異動があったかと思ひますので、自己紹介をお願ひいたします。
事務局職員	（教育管理統括監から順次自己紹介）
委員長	ありがとうございます。それでは会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 次に第5回会議録の承認を行います。富川委員お願ひします。
富川委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているとのことですので、承認してよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	このとおり決定します。 今回の会議録署名人は、宮城委員にお願ひします。
宮城委員	はい。
委員長	次に教育長報告に入ります。報告事項について説明をお願ひします。
教育長	（報告内容1から4について説明） （報告1） ・平成25年第1回沖縄県議会（2月定例会）における質問・答弁概要について （報告2） ・平成25年度教育委員会職員（学校職員を除く。）の定期人事異動の概況について

	<p>(報告3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度公立学校教職定期人事異動の概況について</li> </ul> <p>(報告4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度県立高等学校入学選抜及び特別支援学校高等部入学者選抜の実施結果について</li> </ul>
委員長	それでは、御質疑ございますか。
宮城委員	一つ教えて頂きたいのですが、資料5ページに「陳情平成24年第201号「琉球・沖縄史」を必修科目または必履修に準ずる科目として設置することを求める陳情」が採択されたとありますが、これは中学校から設置されるということでしょうか。
県立課長	<p>中学校では学習指導要領において、社会科の歴史的分野で身近な地域の歴史についての指導を行うことが求められております。</p> <p>県立高等学校では27校において沖縄の歴史関係の科目を設けて、沖縄の歴史、郷土の歴史、琉球史等について学習をしているところでございます。</p> <p>また、沖縄の歴史に関係する科目を設置していない学校は、世界史や日本史等の歴史科目の中で取り扱っております。</p>
宮城委員	<p>日本史、世界史を通して学んでいるということですね。私は戦後史については家族等から話を聞く機会があったのですが、大学の頃に、初めて琉球史を学びました。</p> <p>自分たちの歴史を知るのはとても大事なことだと思い、個人的に今になってまた琉球史を勉強し始めています。今回の件については採択されて良かったと思います。</p>
教育長	この件につきましては、県教育委員会も各高等学校に対して、なるべく子どもたちに琉球史を教え、郷土史に誇りを持てるように、積極的に展開をしているところです。
泉川委員	<p>報告4についてですが、10ページの文末に、沖縄高等特別支援学校受験状況が載っております。沖縄高等特別支援学校は全寮制で寄宿舎があり、社会自立に向けての教育がなされているということで、非常に評価が高い学校だと理解しております。そういったことから、志願者数が増えていると考えられますが、受験を希望した子ども達で、今回不合格になってしまった生徒が50人おります。</p> <p>志願されている高校に適正に入学出来るような状況をつくることも重要ですし、その入学が叶わなかった生徒はどのような進路、学習環境が保障されるのかというところを懸念しますので、そのことについてご説明頂ければと思います。</p>
県立課長	沖縄高等特別支援学校の受験は、県立高校の受験よりも早く、1月に試験

	<p>が実施されます。そこで不合格になった生徒には、二通りの選択肢がございまして、一つは地域の特別支援学校の高等部に受験するというもので、二つめが、普通の県立高等学校に受験するという形のもので。</p> <p>特別支援学校の高等部への受験については、100%合格という形になっています。そして、県立高等学校へ受験し、運悪く不合格になった場合でも特別支援学校高等部の二次募集で、全員を受け入れる体制を整えております。</p>
泉川委員	<p>二次募集で特別支援学校の高等部に進学できるルートが保障されているというのは、非常に評価できることだと思いますが、通常学級等での周知や情報提供、事前相談等の必要性も含めて、実態の数値の中で、事前の相談を受けられなかったのか（進路を選択出来なかった）、という事例がないようにして頂きたいと思います。</p>
県立課長	<p>ご指摘のことは、志願前相談といいますが、実施したのは平成23年度からでございます。平成23年度に1件、24年度に1件、志願前相談を受けずにどうにかならないかという事案もありましたが、事前に調整しまして、特別支援学校に入学出来るように致しました。</p> <p>その周知については、徹底していきたいと思います。</p>
委員長	<p>他にございませんか。</p> <p>（しばし間があり）</p> <p>それでは、議事に入ります。本日は議案が2件となっておりますが、文化財保持者の追加認定議案となっておりますので非公開としたいと思いますがよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>このとおり決定します。</p> <p>休憩します。</p> <p>（関係者以外退室）</p> <p>（以下は非公開部分のため省略します）</p>